



# モエワ★カムイ 50

NO.

●モエワ・カムイとはアイヌ語で「エゾタヌキ」のことです。

NOV 1997



あさひやまどうぶつえんニュース  
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ

「ぼくは動物大使」

その11 アカショウビン 2.3

特集

児童動物画コンクール 4.5

飼育研究レポート 6

動物園事情・  
動物病院ニュース 7

クイズ  
できごと  
飼育動物数  
編集後記 8

アカショウビン  
*Halcyon coromanda*

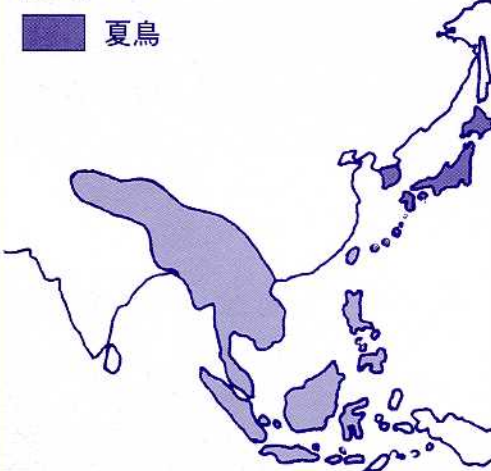
ぼくは、  
**動物大使**  
**その11 火の鳥 アカショウビン**

**アカショウビン**

*Halcyon coromanda*

ブッポウソウ目カワセミ科に分類されます。カワセミの仲間は世界で92種います。大きな頭、大きなくちばし、短い足・指と言った共通の特徴があります。上手に魚を捕る種が多く、英語ではキングフィッシャー（漁師の王）と呼ばれています。アカショウビンは春日本に渡ってきて繁殖する「夏鳥」で秋になると台湾・フィリピンなどに渡り越冬します。

留鳥  
 夏鳥



**くちばし**

大きくて、真っ赤な色。獲物はくちばしではさみ、木にたたきつけて殺してから食べる。



**体の色**

全身赤色で、背中が赤紫色に輝く。

**足**

とても短く、人差し指、中指、薬指が付け根の部分で癒合している（合し足）。カワセミの仲間の特徴。



**大きさ**  
 全長約28cm



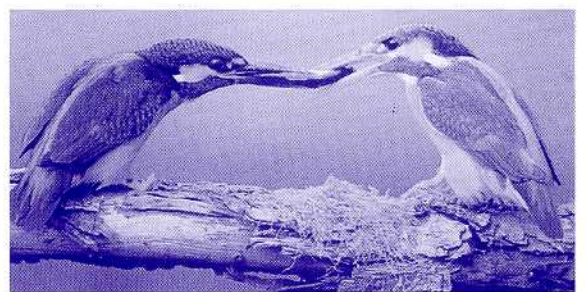
**巣**

朽ちた大木に穴を掘り巣を作る。4～6卵産み、孵化日数は20日。

日本(旭川)で繁殖する  
**カワセミの仲間**

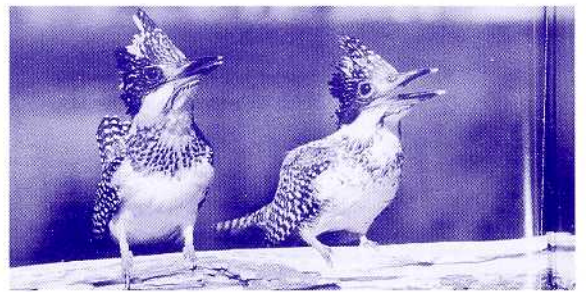
**カワセミ**

全長約17cm。コバルトブルーの美しい鳥。北海道では夏鳥で、冬は本州以南に渡り越冬する。



**ヤマセミ**

全長約38cm。白と黒のモノトーン。北海道でも1年中見られる留鳥。



**アカショウビン**



**森に棲むアカショウビン**

日本で繁殖するカワセミの仲間はカワセミ、ヤマセミ、アカショウビンの3種です。カワセミ、ヤマセミは餌のほとんどが淡水魚なので、棲んでいる場所も湖や溪流沿いに限られます。これに対してアカショウビンは魚はもとよりカエル、セミ、クワガタ、トカゲそれにミズなど林床部の生き物なら何でも食べます。溪流を含んだ林の広い範囲で生活することができます。カワセミ、ヤマセミは「水辺のカワセミ」、アカショウビンは「森のカワセミ」と言えるでしょう。



**旭山動物園のアカショウビン**

今年6月24日旭川近郊で保護されました。翼を骨折していましたが、外見上骨折は治りましたが、野生に戻せる程、飛翔力は回復しませんでした。動物園では小さなネズミを餌として与えています。

# 第29回 児童動物画コンクール 優秀作品

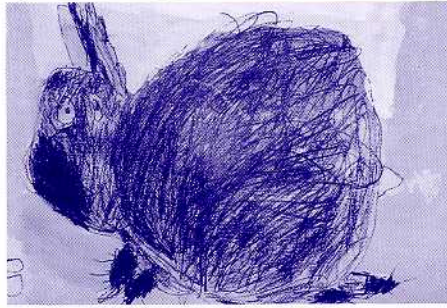
## 幼児の部

### 旭山動物園賞



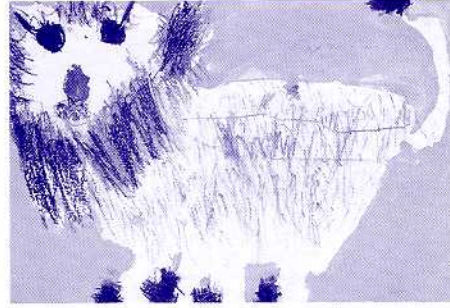
南 あかりさん  
(5才)

### 旭川市長賞



佐々木 潤 司くん(5才)

### 旭川市教育委員会教育長賞



瀬戸 一 毅くん(5才)

### 北海道新聞旭川支社長賞



中山 健 太くん(6才)

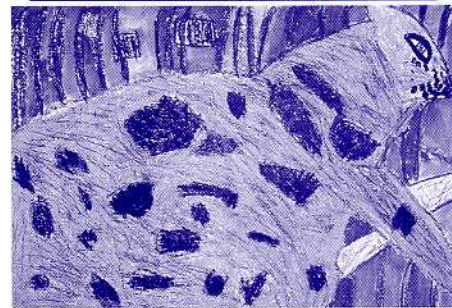
### マルカツ賞



大西 祐季衣さん(6才)

## 低学年の部

### 旭川市長賞



宮川 友梨子さん(2年)

### 旭川市教育委員会教育長賞



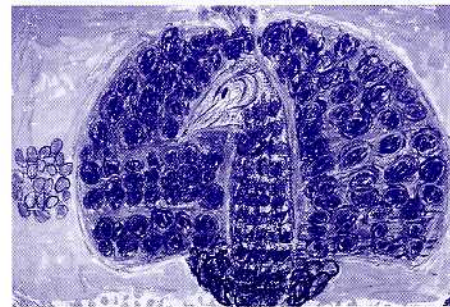
松本 知 之くん(1年)

### 北海道新聞旭川支社長賞



木村 瞳さん(1年)

### 旭山動物園賞



飛驒野 ま りさん(2年)

### マルカツ賞



ながうらやすふみくん  
(1年)

### 旭川市長賞



山本 貴 勝くん(4年)

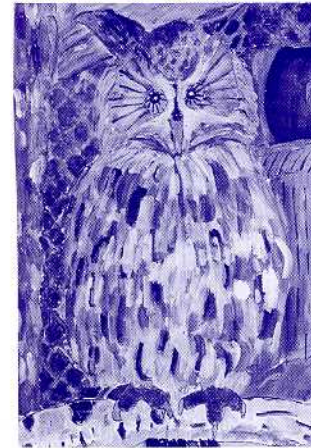
### 旭川市教育委員会教育長賞



渡部 美 佳さん(3年)

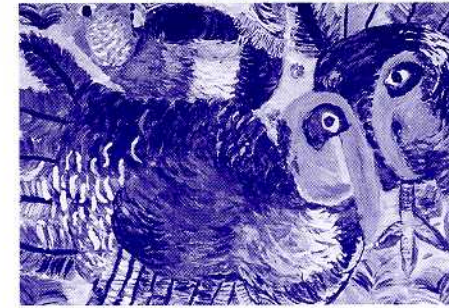
## 高学年の部

### 北海道新聞 旭川支社長賞



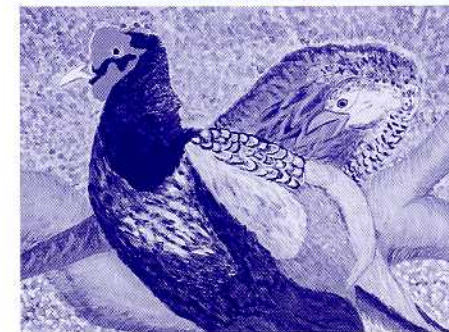
中川 克 敏くん  
(5年)

### 旭川市教育委員会教育長賞



梅本 麻 美さん(5年)

### マルカツ賞



寒川 寛 之くん(6年)

### 旭山動物園賞



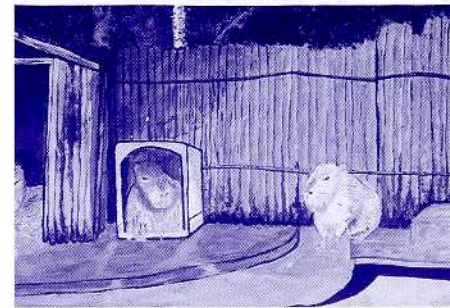
佐竹 由梨亜さん(3年)

### マルカツ賞



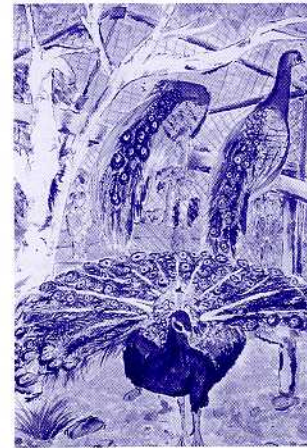
広田 和 之くん(3年)

### 旭山動物園賞



三浦 比砂子さん(5年)

### 旭川市長賞



相田 欧 美さん  
(6年)



## 中学年の部

### 北海道新聞 旭川支社長賞



山口 千 晴さん  
(4年)

# 飼育研究レポート

今年6月26日、待望のレッサーパンダの赤ちゃんが生まれました。産箱の中からピーピーと小さな声が聞こえました。昨年は6月25日に展示場の土の上で出産してしまい、慌てて部屋に入れましたが、母親のチャオチャオが育児を放棄した、という苦い経験をしました。今年は早めにチャオチャオを放飼場に出さず産箱を用意し出産を待ちました。7月5日、チャオチャオが餌を食べている間に初めて産箱をのぞいてみました。箱の中には子どもが2頭いました。全身ネズミ色の毛におおわれていて親とは似ても似つかない姿でした。大きさにずいぶん差があるようでしたが、仔の確認だけをしてこのまま上手に育てて欲しいと願い、産箱の蓋をそっと閉めました。私にできることは、小さな新芽の笹をたくさん採り、おいしい餌を与えることだけです。仔の大きさに差があるのが気がかりで、母乳がたくさんできるように気を配りました。

生後3週間で目が開きました。まだ歩くことは出来ません。顔は少しレッサーパンダらしくなってきました。体重は大きい方が400グラム、小さい方が130グラムと極端な差がありました。しかし小さいこと以外は異常がみられなかったので様子を見ることにしました。その後小さいなりに成長していたのですが、5週目の7月30日、産箱をのぞくと死亡していました。成長不良の原因はわかりませんでした。大きい方の仔は元気で8月に入り体色が親と同じ茶と黒に変わってきました。8月13日体重が700グラムになり、産箱の中を這い廻れるようになりました。8月30日体重900グラム、よちよちと歩けるようになりました。9月7日初めて産箱から出ました。足もともおぼつかなく、外の様子を眺めていました。

産箱から出ている時間が長くなった9月23日、親子で初めて展示場に出しました。仔はおぼつかない足どりで金網に登り、おりれなくなって母親に助けを求め、母親にくわえられて難を逃れました。

9月28日、少し早いと思いましたが、早く皆さんにみてもらいたいと思い一般公開することにしました。じっとしている時間が長いのですが、ぬいぐるみのような姿は人気の的でした。

10月11日、仔が初めて餌のリンゴを食べているのを確認しました。来年のゴールデンウィーク皆さんにお会いする頃にはすっかり大きく成長しているでしょう。そして来年もまた可愛い仔が誕生するかも……。



# 動物園事情

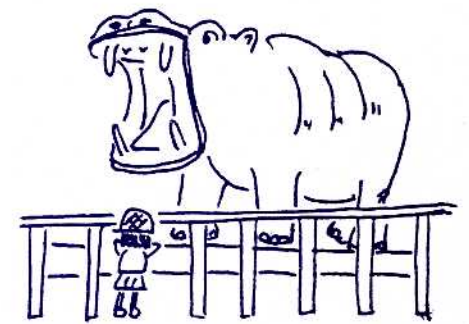
動物園関係者が動物園の将来像みたいな事を話し合うと、種の保存の事や教育活動の方向性などの話に集中してしまいます。動物の展示はその動物が生息している環境を模した生態展示が当たり前で、さらにどんなハイテクを利用しようかという時代です。各論的部分では10年前に比べずいぶん進歩したと思います。動物園全体としては、入園者数が減少傾向にある中、今一度、動物園てどんな所なのか考えてみたいと思います。

動物園の歴史は中世のヨーロッパに始まります。戦利品として持ち帰った異国の見た事もない動物を、貴族が領民たちに見せたのが始まりです。写真やテレビのない時代、キリンやゾウは私たちが宇宙人を見るような衝撃だったでしょう。自分たちの住んでいる国にはいない動物が見れる、これが動物園の基本でしょう。

旭山動物園は開園して30年になりますが、15年程前までは動物が見れば良いという時代でした。何の飾りもない檻の中にライオンやホッキョクグマがいるだけでお客さんは満足してくれました。また何の飾りもない檻なのでどんな動物でも入れることが出来ました。

この頃から地球規模での環境破壊の問題や、野生生物の保護の意識が高まりだし、希少動物の商取引などが問題になり始めました。動物園も動物をただ見せ物にするのではなく、その動物が棲んでいる環境や、生態までも見せられるような展示の工夫が始まりました。どうしてその動物が変わった形や色をしているのかが分かるような展示の仕方です。最近では鉄の檻は閉じこめている印象が強いので、檻で仕切る代わりにガラスを使ったり、掘りで仕切ったりするようになってきました。動物の不快な(?)匂いも出来るだけ抑えるようになってきています。

最新の動物園を見に行くと、見事な疑似空間になっています。匂いもなく動物もその疑似空間の一部のように見えます。旭山動物園は古い何の飾りもない檻が多いのですが動物が主役です。お客さんにお話をしても、ライオンの生態の話よりも旭山のライオンの性格や餌の話の方が興味深いようです。旭山動物園は匂いや気配なんかも含めて動物を見近に感じてもらえて、動物のいる空間の心地よさが伝わればと考えています。けっして本やテレビでは伝わらない部分です。このことが自然や動物を大切にしようといった気持ちにつながって行けばと思います。



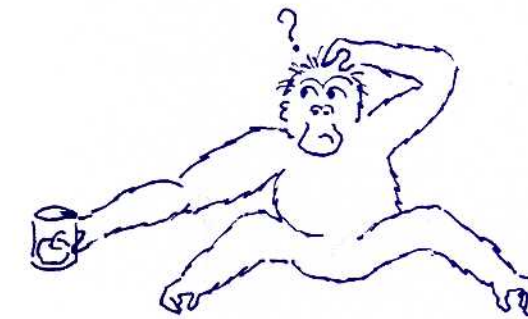
# 動物病院VETニュース

## ゆるいうんこに知恵を絞って…

6月の始めにオランウータンが下痢をおこしました。拾い喰いでもしたか、お腹でも冷やしたのか、まあ明日には治るだろうと楽観した気持ちで胃腸薬を飲ませました。ところがこの下痢は簡単に治まるものではありませんでした。少し長引くので心配になって検便を試みたところ、顕微鏡の視野の中でウヨウヨと何かがうごめいていました。原虫症です。“原虫”というのは単細胞の小さな寄生虫のことで、種類によっては下痢をおこすなどの悪さをします。原虫は普段から腸の中に寄生していることは珍しくないのですが、宿主(寄生される側)の体調が悪くなった時に、ここぞとばかりに増殖して症状を現します。このオランウータンの時も、ちょうどお見合いをさせていた期間中だったので、それがストレスになって体調を崩したのでしょうか。

さて、原因がわかったので治療に取りかかった訳ですが、この種類の原虫に効く薬はあります。ただ、これがものすごく苦いのです。人間ならば病気が治ると思えば我慢して飲めそうなものですが、オランウータンは、やはり説得には応じませんでした。仕方がないので、あの手この手で飲ませようと思します。はちみつやジュースに混ぜたり、大好物のヨーグルトに混ぜたり。しかしどうやってもすぐにばれて吐き出してしまおうのです。結局こちらが根負けして、いちばんよく効くはずの薬は飲ませられませんでした。やや不安はあったものの、別の、もう少し飲みやすい薬を飲んで頂いたところ、幸い薬は効いて一件落着きました。

野生動物に薬を飲ませるとするのは、実は工夫と根気のいる大変な作業です。怒鳴りつけても、なだめても、飲んでくれません。飼育係と獣医が知恵を出し合って、上手く飲んでくれて、これで病気が治ったときには、やっぱり笑みがこぼれちゃいます。



# クイズ

皆さん「ととりの村」はご覧になりましたか？  
水鳥たちの池を巨大な網で覆い巨大な「鳥かご」にしました。お客さんも鳥かごの中に入りガンやハクチョウの仲間などを見ることが出来ます。

さて、ここ水鳥の楽園である「ととりの村」、次のうちここにはいない鳥は次のどれでしょう？

1. コブハクチョウ
2. タンチョウ
3. アオサギ



## 49号の正解者

正解は2番でした。  
キーホルダー当選者  
福岡市 高松 美歌さん  
旭川市 佐藤 利奈さん  
旭川市 市川 剛志くん

正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製エゾシカの角キーホルダーが当たります。

応募方法はハガキに答と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、旭山動物園モユク・カムイ係までお送り下さい。

応募×切 1997年12月15日

## できごと

- 8月1～3日 サマースクール
- 8月13～16日 夜の動物園
- 9月7日 「ととりの村」オープン
- 9月中旬～ せせらぎ小川工事始まる
- 9月15～23日 秋の文化祭  
鳴き虫展・収穫祭
- 9月28日 レッサーパンダの赤ちゃん一般公開
- 10月11日 カピバラ出産
- 10月19日 '97さよならゲーム大会・閉園



## 飼育動物数

(9月30日現在)

哺乳類	47種	200点
鳥類	103種	504点
爬虫類	10種	38点
合計	160種	742点

## 編集後記

「動物大使」は皆さんにはあまり馴染みがないアカショウビンを取り上げました。開園期間中に北海動産コーナーでその美しい姿に驚いた方も多いと思います。姿は見た事がなくてもこんな美しい鳥が地元の森にまだいるんだと思うとうれしくなります。でもこのアカショウビン、朽ちた大木に巣を作るため、「管理された山」では生活できません。いつアカショウビンの生活できる林がなくなってしまうのか心配です。

モユク・カムイ No.50 平成9年11月15日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104  
発行 小菅正夫  
編集委員 坂東 元・中田真一・松島 守・辻松淳二  
印刷 谷川印刷株式会社 〒070 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653